

令和7年度上半期の執行状況



令和7年度上半期(9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況をお知らせします。

一般会計及び特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	170億 645万円	76億4,890万円	45.0%	61億5,976万円	36.2%
国民健康保険	35億8,160万円	15億2,010万円	42.4%	13億9,606万円	39.0%
後期高齢者医療	5億 550万円	2億6,562万円	52.5%	1億9,132万円	37.8%
介護保険	30億7,100万円	16億 265万円	52.2%	12億6,141万円	41.1%
計	241億6,455万円	108億 272万円	46.1%	90億 855万円	37.3%

公営企業会計

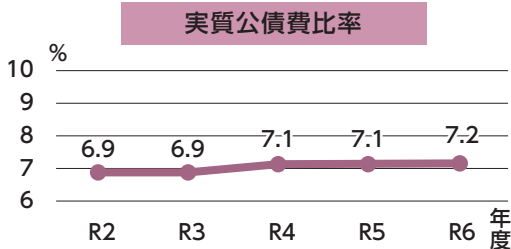
会計名		収入			支出		
		予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	執行率
水道事業	収益的収支	8億 774万円	3億7,089万円	45.9%	7億7,136万円	1億2,747万円	16.5%
	資本的収支	2億 691万円	0万円	0.0%	6億6,228万円	1億2,145万円	18.3%
下水道事業	収益的収支	4億5,414万円	2億8,597万円	63.0%	4億5,414万円	8,554万円	18.8%
	資本的収支	2億 709万円	1,105万円	5.3%	2億9,860万円	5,211万円	17.5%

※収益的収支は、事業運営に伴う収益・費用に関する収支です。資本的収支は、施設整備などの投資的経費に関する収支です。
※資本的収入の収入率が低いのは、企業債や一般会計繰入金など、年度末に収入が見込まれる項目が多いためです。

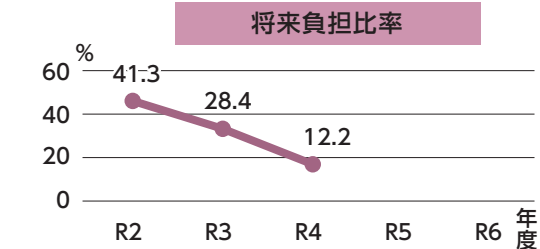
財政健全化比率等の公表

令和6年度決算による財政健全化比率等は、いずれの指標も基準を下回っており健全な状況です。

指標	説明	町の比率	早期健全化基準	備考
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の標準財政規模に対する比率	—	13.71%	赤字額が生じていないため「—」と表示
連結実質赤字比率	すべての会計を対象にした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率	—	18.71%	赤字額が生じていないため「—」と表示
実質公債費比率	一般会計などが負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率(過去3カ年の平均)	7.2%	25%	
将来負担比率	一般会計などが将来的に支出することが見込まれる額から、充当可能財源を控除した額の標準財政規模に対する比率	—	350.0%	算定されないため「—」と表示
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	—	20.0%	資金不足を生じた公営企業がないため「—」と表示



前年度から0.1ポイント増加し7.2%となりました。ここ5年間は、ほぼ横ばいで推移しています。



R5およびR6年度は、将来負担額を充当可能財源等が上回ったため、比率は算定されませんでした。